

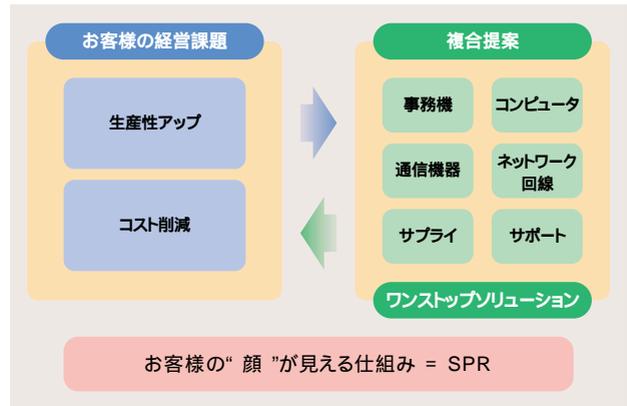
## 次期の課題と見通し

### 今後のIT市場

今後の国内経済は、原油価格や円高等の懸念材料があり不透明な状況にあるものの、緩やかながらも引き続き回復基調を維持するものと予測されます。

そのような状況にあって、ITを積極的に活用した経営強化は、規模の大小を問わず全ての企業に求められています。その背景として、インターネットを活用した企業間取引や基幹系システムの抜本的見直しに加え、ブロードバンドの進展によりデータ・音声・映像の統合がさらに進むと考えられます。また、基幹系と情報系、インフラとアプリケーション、デジタル複写機とコンピュータの融合等、今まで以上に複合提案・総合ソリューションが求められる時代になりつつあります。このことは、コンピュータ系、複写機系、通信系等、単一分野だけの取り扱いでは総合的な提案が出来ないことを意味しております。

### お客様の課題(困った)を解決



### お客様と共に成長し、信頼に応える

当社グループは創業以来、お客様のご要望にお応えしながら、複写機・コンピュータ・通信機器・回線やIP電話等を一社で提供し、ソリューションやサービス領域を拡大してまいりました。今後も、中長期的な経営戦略に基づき「ミッションステートメント」の具現化に努め、お客様の経営課題解決でお客様と共に成長し、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

## 具体的な取り組み

具体的には、「New-Web戦略」の推進により取引顧客の深耕・拡大を図るとともに、総合保守サービス「トータルαサポート21」の強化、「たのめる」<sub>」</sub>「ODS21」<sub>」</sub>「SMILE」<sub>」</sub>「OSM」への注力を軸に、収益力の確保と売上の伸長を図り、あわせて事業評価をさらに徹底したうえで、これら今後伸長が期待できる事業領域に経営資源を集中させグループ経営の一層の向上に取り組んでまいります。

## 次期の見通し

以上により、次期の連結業績見通しといたしましては、売上高は3,910億円(前年同期比 5.0%増) 経常利益は180億円(前年同期比 5.7%増) 当期純利益は87億20百万円(前年同期比 22.5%減)を計画しております。

## 中期目標と活動方針

### 基本方針

ミッションステートメントの具現化により  
お客様と共に成長する

### 中期計画

人員計画は基本的に横ばい  
増収・増益による業容拡大を図る  
**売上高営業利益率・売上高経常利益率  
ともに5%台を目指す**  
顧客資産 データの活用で需要を開拓  
人 物 金の効率活用で生産性向上